

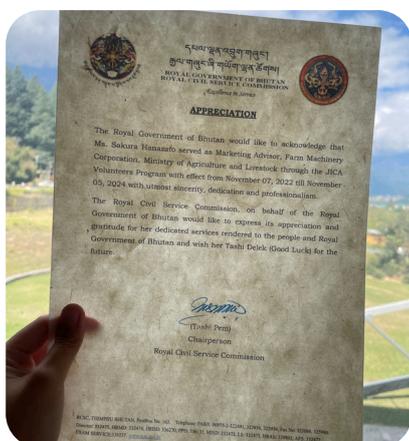
任期満了に伴い11月6日に日本に帰国しました。  
今回が最終号となります！

## ■新規ブランド名の行方…？

帰国してすでに3週間が経過してしまいましたが、最後の活動の報告を。  
任期のラストスパートで取り組んでいた新事業展開に伴うブランドの立ち上げについて…。

帰国前に同僚と協議し「SaNor」というブランドを提案しました。  
ブータンの公用語で「農業」と「宝石（貴重な物）」を組み合わせたブランド名で  
役員承認を待っていたのですが…役員会議の結果は残念ながら否決だったようです！  
どうやら役員内で別のアイデアがあるんだとか…  
11月上旬には新事業のお披露目セレモニーも行われたようですが  
ブランド名は未決定のまま執り行われたようです。

最後までシナリオ通りにならないのも、ブータンらしいなあ、と  
もう動じることなく受け入れている自分にも驚き。  
「帰国してもメソッドは引き継ぐから安心してね」と  
同僚や関係省庁の方から励まされる形で、配属先での活動を終えました。  
ブランド名が決定した際にはSNSで発表するようなので、日本でその知らせを待つことにします！



## ■2年間の活動の最終発表

活動成果とフィードバックを王立人事院で発表しました。  
ここは国家公務員の採用に関わる機関で、  
ブータンでの協力隊要請も王立人事院との協議で作成されているため  
隊員は着任・離任時の2回はここでご挨拶をすることになります。  
同期6人の活動内容についても、詳細まで聞く機会はあまりない為  
貴重な機会となりました。

同期隊員たちの発表を聞きながら、みんなの英語がブータン発音に寄っていることに気が付きました。  
特有の語尾やちょっとした発音の癖をしっかりと習得している事が面白くもありつつ、  
それぞれ2年間ローカルの人々と生活していたんだなと実感するひと時でした。  
最後に王立人事院のチーフから感謝状とプレゼントを頂き、記念写真を撮って終了！  
政府機関から感謝状を頂くことはなかなかない機会なので、感慨もひとしおでした。

# 最後の思い出たち

最終月は同僚や隊員との思い出作りが盛りだくさんでした！ブータン生活に悔いなし！



配属先の送別会



Drakey Pangtsho登山



お見送りありがとう！

## ■最後に…ブータンにきて良かったこと？

ブータンに行くことになってから、多くの人に聞かれたこと。

「幸せの国って本当に幸せなの？」にわたしなりに答えるなら…

確かに幸せは感じやすくなりました！幸せの閾値がさがった、という表現が正しいかもしれませんが。

活動の面では、計画通りに進まない！という事だらけでしたが…

そもそも仕事の優先順位が日本ほど高くないブータン。（経済発展が重要かどうかはさておき）

必要以上に裕福さを求めたり、社会的地位や外見を他人と比べる事が日本よりも少なく

普通に生活をする面ではかなり生きやすい社会だなと、個人的には感じました。

今ある自分を肯定してくれるように思えた事が大きな理由なのかも？

同僚達がよく言い合っていた「あなたは今のままで充分素晴らしいし美しい！」という言葉、

私はすっかり聞き慣れてしまっていました…

今思い返すととてもいい言葉だな～と思い、最後に皆さんにもシェアしておきます！

2年間読んでくださったみなさま、ありがとうございました。Tashi Delek～！



花里さくら

長野県佐久市出身

青年海外協力隊としてブータンに派遣

2024年11月任期満了